

三河本苑だより

1月号
2025・1 No.512
(発行者)
大本三河本苑
〒443-0031
蒲郡市竹島町2-8-5
TEL.0533-69-7518
FAX0533-69-1455

お知らせ

「七草粥」で、おもてなし
令和七年一月月次祭「七草粥」にて、
健康な一年をお迎えください。

あけましておめでとうございます

Felichan Novjaron-

「令和五(み)・六(ろ)・七(く)」の最終年、明けましておめでとうございます。

昨年を振り返りますと、元日夕刻の「令和6年能登半島地震」に始まりどのような一年になる事かと思いましたが、十月に執り行われました「香良洲神社・大本友好祈念碑除幕式」での「基本宣伝歌」を皆さんで斉唱させて頂いた時に新たな感激を覚え、とても清々しい気持ちになりました。また「新たな幕開け」を感じた瞬間でもありました。

今、私たち大本信徒として出来る事は「世界平安安全祈願ならびに令和六年能登半島地震鎮静復興祈願祝詞」を引き続き奏上し、『大難を小難に小難を無難に』大神さまに真剣に祈らせていただきましょう。

そして先ず「自ら出来る事を一生懸命させて頂き」、「強く正しくニコヤカに十まつごころ」で進んでまいりましょう!

令和7年乙巳(きのとみ) 新年ご挨拶

三河本苑長 牧 武

教団方針「私たちの6つの誓い」

―より抜粋―

●み教えに親しむ

大本公式SNSのご教示(ショート動画)や公式HP(信徒ページ)に公開している「大道場ほか講座の動画」を視聴しましょう。本苑においても、月次祭時及び研修会時等を利用して放映してまいります。

●人類愛善会創立一〇〇周年・綾の聖地エルサレム大本歌祭

十月十二日(綾機平にて)

本宮山を拝する綾機平(あやはただいら)において執り行われる「綾の聖地エルサレム大本歌祭」では、人類愛を基とした国際共通語

エスペラントを中心に、日本語をはじめ各国々の言葉で平和を願う歌が朗詠されます。皆様「献詠歌」を

ささげ、参拝しましょう。

●宣伝使の養成 (宣伝使任命一〇〇年の節目に、全国で宣伝使昇・新任一〇〇人を目指す)

本苑役員及び特任宣伝使、機関長と連携・協力して一人でも多く

の方を養成します。

●未来をひらく青少年の育成

四部会(誠心会・直心会・青松会・青年部)で連携・協力

本苑、各機関、各家庭における信仰後継者不足は長年蓄積された問題であり、中でも青少年の育成は最重要課題であり、真剣に取り組んでまいります。

なお、右記に基づき「三河本苑重点活動」につきましては、各部会及び各責任役員各担当副参事を交えて検討し、活動を推進してまいります。(次号掲載予定)本年も相変わりにまして、よろしくお願いたします。

一月の行事

●一日(水)
本苑新年祭

午前十一時

●十九日(日)

本苑二月月次祭

・成人式

・七草粥

●二十六日(日)

教本二級認定講習会

二月の行事

●二日(日)

節分大祭(梅松苑)

●十六日(日)

本苑二月月次祭

分所・支部長研修会

直会終了後

●二十二日(土)

教本一級認定講習会

教本三級認定講習会

七草粥接待のため、1月の添え釜接待はございません。





青年部長 天内穂乃佳
少年部の頃から本苑の行事に参加させていただったり、当時の青年部の方に本部の少年祭などの行事に連れて行って

夏季/冬季学級を大切に



10月月次祭で、初司会
すくいたらない点も多
いが、よろしくお願
いたします。

ただいたりしてきま
した。当時とは状況
が大きく変わり、自分
が少年の頃にさせて
いただいた様な経験
を今の少年の子たち
にさせてあげられる
かはわかりません。
まずは夏季・冬期学
級を盛り上げること
を目標として頑張っ
ていきたいと思いま
す。

開教132年大本開祖大祭 呈茶席接待



東海教区直心会の皆さまと記念写真

直心会活動報告書

(三河連合会)

11月3日、開祖大祭におきま
して白梅殿にて東海教区直心会2
8名、うち三河本苑より5名の方
にご奉仕いただきました。



大祭開始から午後2時頃まで、

教主さまを始め来賓として参拝された、台湾道院の74
名その他、約700名のご入席となりました。

ありがとうございました。

三河連合会 三矢千恵子

私の 思い

高浜支部 酒井 展子

感謝

昨年10月、米寿を迎えること
ができました。神様の御守護に
感謝するとともに、父の戦死後
一人で一家を支え育ててくれた母
への思いが重なりました。

私の幼い頃から神棚があり、
皆で祝詞を奏上していました。
祖母の代からのようです。ある
時祖母が、「昔神懸かりの修行
でドタンバタンと宙を舞い、降っ
てこられた神霊に、どなた様で
すかとお尋ねしたんだよ」と
話してくれました。

ある時家の片づけをしていた
ところ、思いがけない所から「弥
仙山岩戸開き」と焼き印のある
長い杖が出てきました。姉に尋
ねると、当時のことを話してく
れました。姉が13歳、私が12歳
の時、母にねだって2人で綾部へ
お詣りさせて頂きました。

当時夜行列車は満員で、床の
片隅に新聞紙を敷いて眠りま
した。弥仙山まで、二代様
がお乗りになられたお駕籠の綱
を引かせていただいたことを思

い出しました。

祭典の八雲琴の音色に魅せ
られて、大祭後行われていた八
雲琴の講習会に参加しました。

1週間本部に宿泊して初代緒
琴先生のもとに通いました。

「真剣勝負ですよ、全力でか
かって来なさい」と厳しいご
指導と美しいお声が心に残っ
ています。

私は曹洞宗の家に嫁ぎまし
たが、新家でしたので主人の理
解があつて、母の亡くなる前に
大神様を奉斎することが出来
ました。お茶は伯父の金原房松
様の勧めで、従姉や姉と共に中
学生の間から習わせていただ
きました。それが基礎となっ
て今があると感謝しています。
昨年、病氣療養中だった主人
が多くの方に見守られながら
安らかに逝きました。

今は運転免許を返納し自由に
外出することが難しくなりま
したが、4人の子に助けられ
過ごしております。

ひつ時のばなし

素敵な、ばあちゃん
じいちゃんは朝、ばあちゃんの若
返りに気づいた
ばあちゃん「〇才若返ったね」と
うれしく言った
すると、ばあちゃんは昨日の美容室
での出来事を話した
「そっなの」じいちゃん
わたしも美容が終わった時にね
鏡に映った自分を見て思わず
美容師の方に聞えるほどの声で
「素敵」と叫んじゃた」と言っ
じいちゃんはその時
若返らせ美容師さんも素敵だが
素直に「素敵」と声をだす
ばあちゃん「こころこそ
素敵と思った

補試使 准使 正使

機関長様は推薦をお願いします！

「教本1～3級認定講習会」

のご案内

【1級】2025年 2月22日(土)
【2級】2025年 1月26日(日)
【3級】2025年 2月22日(土)
【場所】いずれも三河本苑

「分所・支部長研修会」

のご案内

【日時】令和7年2月16日(日)
本苑月次祭 直会后
【場所】大本三河本苑
【講師】本部講師/特派宣伝使 前田茂太
【参加者】分所長・支部長・会合所長の1名、
総代と次長より1名の各機関で2名